

2021年度 社会福祉法人めやす箱
グループホームめやす箱 事業報告書（案）
（共同生活援助・短期入所）

1. 概要

利用者一人一人を大切にし、法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針として福祉サービスの提供を行った。また、利用者及び家族のニーズや要望を個別支援計画に反映させ、個々に合わせたサービスの提供を行い、入所部門職員一丸となって「サービスの質」と「利用者満足度」の向上に取り組んだ。

（2021年度 事業目標）

- ① 快適な生活が送れるよう感染症対策及びリスク管理の徹底と衛生的な住環境の整備に努める。
- ② 利用者の権利擁護を念頭に置き、支援力の向上を図る。
- ③ 安心安全を第一に考えた上で、利用者の生活能力の維持・向上を図る。
- ④ 日常生活上の困り感や不安等、誰もが相談しやすい環境作りに努め、迅速且つ柔軟な対応を行う。

「①感染症対策及びリスク管理の徹底と衛生的な住環境の整備」については、継続して次亜塩素酸やアルコールを使用し、共有スペース等の消毒を実施。短期入所の居室も毎日利用者が入れ替わるため、同様の対応をとっている。また、共有スペースや階段、廊下などこまめな清掃を心がけ、満足度調査で「トイレの匂いが気になる」との意見をいただいたことからチェック表を作成し、定期的なトイレ掃除と匂いチェックを行っている。

利用者の体調を確認するため毎朝バイタルチェックを行い、マスク着用が可能な利用者には、可能な限りマスクを着用していただいた。職員についても毎日出勤前に検温を行い、出勤時には健康チェックを実施、マスク着用を徹底した。しかしながら、マスクが着用できない方を対応する際、フェイスシールドの着用までできていなかったため、次年度から改善していく。

共有スペースには空気清浄機と飛沫防止の亚克力板を設置、併せて定期的な換気を実施している。食事については、希望に応じて居室で食事が摂れるよう対応し、時間差で食事を提供することで食堂内の人数を制限し、密を回避している。予防と対策の徹底により、新型コロナウイルスは勿論、今年度もインフルエンザやノロウィルスの感染者は確認されていない。

しかしながら、今年度は職員異動が多かったことも影響し、情緒不安定時における対

応の未熟さや利用者の高齢化に伴うリスク対応の足らずから、事故報告書②が4件、事故報告①が2件挙がっている。ヒヤリハット件数も多く挙がっていたが、職員間の情報共有が足りておらず、再発防止策の徹底や環境改善にも不足が見受けられている。既存の情報共有方法を見直し、全職員に迅速且つ正確に周知できる方法に改善し、過去のヒヤリハットや事故報告書をもとにKYTを実施することで、個々のリスクマネジメント力向上を図っていく。また、加齢に伴う機能低下が著しい利用者については、ケアマネージャーや後見人等と連携し、介護保険サービスへの移行準備を進めている。

「②利用者の権利擁護を念頭に置き、支援力の向上を図る」については、生活介護・入所部門の権利擁護指針をもとに毎月重点目標定め、職員会議の場で各職員の1ヶ月の取り組みについて報告を行い、意識向上と情報共有を図っている。また、部門会議で各事業所の取り組みを報告し、部門全体でも情報を共有している。

職員会議の中で権利擁護や障害特性に関する勉強会を開催し、定期的にセルフチェックを行うなど、振り返りの場も設けている。利用者の状況や特性を見極め、支援の共有化・統一化を図ることで質を高めると共に、職員の意識向上に繋がる取り組みを強化し、定期的に振り返りの場を設けていくことで、今後も権利擁護・虐待防止に関する高い意識と正しい知識を育んでいく。

「③生活スキルの維持・向上」については、会議での勉強会に加えて個別支援検討会を実施し、知識と技術の共有化を図っている。職員異動を踏まえ、どの職員が対応しても同じ支援内容となるよう、まずは職員間で利用者個々の生活スキル向上アプローチや課題を共有。利用者が読み取りやすいジェスチャーや言葉の種類を増やしていく手法等について協議している。一人一人の意思を汲み取ることに努め、日々の情緒に応じた対応を心がけ、個々の特性に合わせて分かり易く伝えることで見通しが持てるようになり、落ち着いた生活が送れるようになった利用者も増えている。また、日常生活の中で様々な選択肢を提示し、自己決定の機会が増えた結果、自ら意思を表示する場面も増え、心身の安定に繋がる利用者もおられた。

「④誰もが相談しやすい環境作り、迅速且つ柔軟な対応」については、新しい生活様式を取り入れた上で、継続して一人一人と関わる時間を確保し、必要に応じてケースワークを実施している。しかしながら、満足度調査で「職員ともっと話しをする時間を確保してほしい」といった意見が挙がっている。そのため、利用者にはいつ対応可能なのか、職員配置が手厚い日やスケジュール上時間がとりやすい日等を明確に伝え、見通しが持てるよう配慮している。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、継続的に緊急事態宣言やまん延防止重点措置が適用され、グループホームも入館制限等を設けることとなった。来所頻度が減り感染対策に追われる中で、家族と直接関わる時間もなかなか確保できなかった。そのため、各家庭とこまめに電話でやり取りを交わし、悩みや困りごと等の聞き取りを行い、不安が軽減するよう努めた。

グループホームは交代勤務であるため、特に情報の伝達と共有には注意を払わなければならない。相談事や利用者からの申し出等についても漏れなく引継ぎを行い、迅速な対応に努め、利用者や家族が相談しやすい環境を整えていくよう、職員に周知している。

今年度は新型コロナウイルス感染対策の観点から、余暇時間も可能な限り居室で過ごしていただくようお願いしている。また、行事等も個別化や規模を縮小しての実施となり、他者との接点も減少し利用者の楽しみも減っている。また、居宅介護事業所のサービスを活用した外出については、感染状況に応じて外出頻度や活動範囲を調整し、代わりに室内運動（廊下歩行、ラジオ体操、階段昇降、ストレッチ等）を行い、運動不足や体力低下にならないように努めている。今後も新しい生活様式を取り入れながら、感染状況や気候に応じて外出の頻度や範囲を調整し、利用者が楽しみにされている外出の機会を可能な限り確保していく。

県下の感染者増加に伴い、緊急事態宣言や蔓延防止が発令された際は、家族には入館を控えていただき、玄関先での対応としている。宣言が解除されている期間は、利用者が日中活動先に出勤している平日の日中に限り、1家族単位で入館を認め、日用品補充や居室清掃等にご協力いただいている。また、利用者の様子は家庭連絡表の記載内容を工夫し、できるだけ詳しく書面に残す形でやり取りを行っている。自宅とグループホームの往来を減らすことも感染対策では重要であるため、各家庭にアプローチを行い、帰宅中の感染予防についても協力を依頼している。

2. 利用者・職員の状況

(1) 共同生活援助 実人数（定員 24 名）（単位：名）

年 月	2021 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022 1月	2月	3月	合計
実績数	673	658	685	686	672	666	696	671	678	669	616	692	8062

(2) 短期入所 実人数（定員 2 名）（単位：名）

年 月	2021 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022 1月	2月	3月	合計
実績数	30	22	20	26	24	40	30	29	27	25	19	50	342

(3) 利用（開所）状況（単位：日）

年 月	2021 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022 1月	2月	3月	合計
共同生活援助	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
短期入所	21	19	22	20	20	28	21	20	20	21	18	29	259

(4) 職員の状況 (2022年3月31日現在) (単位:名)

区分	管理者	S管理責任者	生活支援員	世話人	合計
常勤職員	1	1	5	2	6
非常勤職員				5	5

※ サービス管理責任者は生活支援員を兼務。

※ 常勤職員1名は生活支援員と世話人を兼務。

※ 夜間支援:宿直体制にて1日につき1名を配置。

(5) 職員の勤務体制 (2022年3月31日現在)

AM勤	6:30~10:00	3.5時間
A勤	6:30~9:30	3時間
B勤	7:00~16:00	8時間(60分休憩)
C勤	7:00~12:00	5時間
D勤	6:30~15:30	8時間(60分休憩)
E勤	12:00~21:00	8時間(60分休憩)
AP勤	6:30~9:30、16:00~21:00	8時間
AP勤	6:30~10:00、16:00~20:30	8時間
P勤	16:00~21:00	5時間
J勤	15:30~20:30	5時間

(6) 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	誕生日会(個別)
5月	誕生日会(個別)
6月	誕生日会(個別)
7月	誕生日会(個別)、七夕飾り
8月	誕生日会(個別)
9月	誕生日会(個別)
10月	誕生日会(個別)
11月	誕生日会(個別)
12月	くらしきサンタウォーク、クリスマス会
1月	
2月	誕生日会(個別)
3月	誕生日会(個別)

3.施設整備

洗濯機の3台購入について

事業収支			
収入内訳		支出内訳	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	316,950	器具備品(洗濯機3台)	316,950
計	316,950	計	316,950